

『社協の流儀』とは

平成 26 年 7 月 17 日・18 日に栃木県市町社協職員連絡協議会や県社協が主催となり、栃木県で関東ブロック郡市区町村社協職員合同研究協議会が開かれました。

その時のタイトルが『社協の流儀』でした。

これは、「少子高齢社会で、地域の福祉ニーズも複雑多様化している昨今、制度的なサービスに限らず、地域住民・関係機関、行政等の連携による『新たなしくみづくり』が必要とされている中、地域福祉の推進を使命とする社協が、“ひとづくり”・“しくみづくり”・“まちづくり”の視点から、地域の福祉ニーズをどのように解決するか、今後社協が地域でどのような役割を果たすべきか改めて協議し、活動の強化につなげること」を目的として開催された会議です。

この会議の趣旨を常に忘れないために、日々芳賀町社協は業務を遂行してまいります。